

明石観光について紹介する外国人観光客向けのホームページ（HP）を明石西高校（明石市二見町西二見）の生徒が制作した。飲食店への取材から英訳まで全てを手掛け、1年

かけて完成させた。メンバーは「新型コロナが落ち着いたら、多くの人に活用してほしい」と呼び掛けている。

（川崎恵莉子）

外国人客用HP生徒制作

明石西高 店の取材から英訳まで1年かけ



外国人観光客向けホームページのQRコード

国際人間科3年生の5人が2年時の授業の一環でつくった。明石観光の外国人向けサイトが見当たらなかったのがきっかけという。

英語力を生かして取り組んだ。

まず、同校の外国語指導助手（ALT）や知人、同級生ら約200人にアンケートし、市内で行ってみたい場所や店を調査。飲食店は魚の棚商店街を中心に特産品を味わえる店を探し

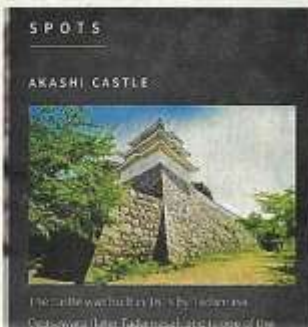


外国人向けに明石の観光サイトをつくった明石西高校の生徒＝明石市二見町西二見

「鍵庄」や「永楽堂」などで店の人におすすめの商品やこだわりの食材を取材した。担当した中村駿さん（17）は「緊張したけど、地域の人が温かくて、面白い人にも出会えた」と振り返る。聞き取った内容を文章にまとめ、先生の協力を得ながら英語に翻訳した。ホームページは「FOODS（食べ物）」「GALLERY（写真）」「SPOTS（観光地）」「DIRECTORIES（道順）」の4項目に分け、明石観光協会から提供された明石城や明石焼、海などの写真を活用。トップページは日本らしさを感じる明石城と桜が融合した画像を使うなどデザインにもこだわった。

代表のホルモフ・ヤヒヨさん（17）は「観光客のニーズに合ったものができたとと思う。ホームページを通して明石の魅力を知らせてもらえたら」と話した。

グルメ、観光地など4項目で紹介



明石城を紹介したスマホ画面